

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 令和2年3月27日（金）午前10時から午前11時40分まで
- 3 開催場所 水戸市役所本庁舎 3階 会議室303
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委 員 加藤 高藏, 櫻場 誠二, 大津 亮一, 内田 敏雄, 林 太一,
石川 よう子, 松本 圭司, 大和田 渉, 楢崎 ひろ子, 鹿倉 よし江,
伊藤 明美, 堀井 武重, 小森 達夫, 澤 利彦, 丹下 美津子,
國府田 敬二郎
 - (2) 執行機関 産業経済部観光課 堀江課長, 岩間副参事, 川俣課長補佐,
根本企画物産係長, 橋崎事業係長, 秋葉主幹
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 水戸市観光基本計画（第3次）中間見直しについて（公開）
 - (2) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
水戸市観光審議会資料, 水戸市観光審議会委員名簿, 水戸市観光審議会条例,
水戸市観光基本計画（第3次）
- 9 発言の内容
別紙 会議録

1 開 会

2 あいさつ

- ・執行機関あいさつ
- ・委員の委嘱及び紹介
- ・会長あいさつ
- ・諮問書の交付

3 議 事

(1) 水戸市観光基本計画（第3次）中間見直しについて

執行機関 <観光審議会資料について内容説明>

委 員 コンベンション誘致の進捗状況について、現状はどうなっているか。また、新市民会館はどのような進捗状況にあるのか。

執行機関 コンベンション誘致については、誘致の始まった2012年には50件程度であったが、2018年には146件まで増加している。また、新市民会館は3年後の2023年にオープン予定である。

委 員 これまで、水戸ではあまり全国大会が開催できていない状況であったが、新市民会館が完成することにより、多くの大会が開催できるものとして期待している。

委 員 インバウンドについて、台湾・中国の方は、梅を大事にする国民なので、その両国に対しては、梅を生かして誘客していくことがよいと思う。

委 員 今年の梅まつりについて、温暖化の影響で梅の花の咲きがかなり早まっているので、観梅の時期については、今後見直す必要があるのではないかと感じた。

委 員 おもてなしが最も重要である。市民一人一人が、観光客をおもてなす気持ちをもつことが重要なので、市民みんなが笑顔でお迎えをしてほしい。

委 員 水戸女性フォーラムでは、梅まつり期間中のおもてなしの一環として、偕楽園にあるトイレに花を飾る取組を実施したところ、観光客から好評だった。

 コロナウイルスにより、梅まつり期間の最後まで、おもてなしの取組を継続できなかったのが残念である。

委 員 資料2について、インバウンド観光推進プロジェクトのなかで、オリンピック・パラリンピックが延期になったことを考慮した表現にした方がよいのではないかと感じた。

 また、観光客からトイレが汚いと意見が出ることが多いので、トイレを改修し

て綺麗にすることが重要であり、具体的な取組の一つとして位置付けてもよいのではないか。おもてなしの事業において、優良タクシー乗務員やおもてなしマイスターの活動、取組をフォローする取組や、モチベーションを上げる取組は位置付けているのか。

執行機関 弘道館の東側においては、広場の整備とあわせて、トイレも整備した。
優良タクシー乗務員の認定後には、フォローアップ研修を行っている。また、おもてなしマイスターに対しては、年間を通して、新たな活躍の場を創出していきたいと考えている。なお、2019年現在、おもてなしマイスターの認定者数は99人であり、2023年までに200人を目標としている。

委員 おもてなしマイスターの認定者数の目標数値については、目標とする人数が少ないと感じるので、もっと多くしてもよいのではないか。

委員 商工会議所においては、資格を有する人に活動してもらうことが大事と考えている。現在、その取組が停滞しているので、再度頑張っていきたいと考えている。

委員 水戸のタクシーを予約するときに、タクシーの運転手は指名できないと言われたが、他の地域に行ったときに、観光タクシーを指名して、1日回ってもらった経験がとても楽しかった。そのような取組は、おもてなしとして大事だと考えている。

委員 水戸市と茨城県との連携が大事だと考えている。偕楽園は茨城県が担当だ、こちらは水戸市が担当だ、などとならないように、市と県が連携し、情報交換しながら進めていってほしい。

委員 水戸には偕楽園・弘道館があるが、残念ながら他県の方からの印象が薄い。それは、イメージがしにくい点があるから選択肢に入ってこないと考えられるので、インスタ映えする写真や映像を活用するなど、視覚的なイメージをつけることができれば、印象が高まり、盛り上がっていくのではないか。

委員 水戸駅でバイクシェアのPRでチラシ配りをした際に感じたことだが、県外や国外の観光客が、自分たちがどこにいるかもわからない様子だった。観光案内所の職員が、積極的な声掛け、案内をしていくくらいの取組が必要ではないかと感じた。

委員 3点ほど、事務局に研究してほしい事項がある。
1つ目として、タクシーやバスのほかの交通手段として、観光スポット間を楽しく移動することができる新しいモビリティを検討してほしい。
2つ目として、最近では個人のユーチューバー・インスタグラマーの発信力がとても強いので、在住外国人のユーチューバー・インスタグラマーに水戸の情報を発信してもらって取組を検討してほしい。

3つ目として、最近、宮下銀座に若い経営者が多くなり、魅力が向上してきたように感じるので、そのような魅力的な裏路地づくりを検討してほしい。

委員 大手門ができてとても素晴らしいが、観光客の流れが水戸駅までつながっていないように感じる。高齢の方は、健康のためウォーキングをするので、市外の方向けに、ウォーキングの観光ルートのPRや美味しいお店の紹介などに取組んだ方がよい。観光客は食べ物や見た目が美しいものに飛びつくので、そういったPRをすればよいのではないかと感じる。

執行機関 大手門周辺には弘道館東側広場を整備し、利便性向上のための取組を推進している。大手門周辺を回遊して消費していただく取組を行うため、水戸学の道ウォーキングマップを作成・配布し、ウォーキングルートの紹介やグルメの紹介を行っているところである。次年度は、ウォーキングイベントの開催を予定しており、市民の方にもルートを知ってもらいPRしてもらえよう、体験型イベントも含めたような形で展開していきたいと考えている。

委員 電車は、遅れた場合、きちんとお詫びの放送があることから、バスにおいても、到着が時刻表から遅れた場合、到着が遅れて申し訳ないという言葉が運転手から一言あると、利用者の気持ちがかかなり変わると思う。そのため、水戸市のバスにおいても、優良バスドライバーの制度があるとよいのではないかと感じる。

(2) その他

会長 本日の意見をまとめ、水戸市の関係各部署に照会する。その結果については、次回の観光審議会にて報告をさせてもらいたいと考えているが、コロナウイルス対策の動向もあるので、次回の開催については、4月に改めてお知らせをさせていただく。

そのほか、コロナウイルスの影響について、ホテル業界と土産品業界等に少しお話を伺いたい。

委員 ホテルへの宿泊客については、2月はあまり影響が無かったが、3月は歓送迎会や高校生の合宿などの団体が全てキャンセルとなった。売上げは大きな減少であった。4月は更にひどく、予約がほとんど空白状態である。どこのホテル・旅館も同じ状況であり、上野でも、ホテル稼働が激減しているという情報もある。資金的に、4月から5月の運営がかかなり厳しくなるのではないかと考えている。

委員 昨年と比べると、お菓子業者の売上げも大きく減少している。今年のネモフィラは、コロナウイルスの影響のほか、花の咲きが早いので、集客も見込めない。店別にいうと、空港・駅・高速道路などの観光客目的のお店の売上げは、激減している。一般のお店も減少しているといった状況。スーパーでも、非常食は売れるが嗜好品のお菓子は売れないという状況にあるので、市内のお菓子屋の営業も非常に厳しいと聞いている。

委員 3月14日に常磐線が全線復旧したが、外出を控えたり、イベント開催の自粛といった現状なので、社内でも次の施策を打ち出せない状況にあるのが辛い。

会長 コロナウイルスが終息するのは、いつになるのか分からない状況である。
打撃を受けている市内の飲食業がこれ以上落ち込まないように、特定少数の外出であれば自粛し過ぎないことなどを市に要望していきたい。また、地場産業を応援していくというメッセージは、観光コンベンション協会や商工会議所からも出していきたい。

4 閉 会